

地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会 第 14 回委員会議事録（案）

場 所：地盤工学会会議室

日 時：2010 年 11 月 22 日 14:00～17:30

出席者：日下部委員長，大久保幹事，正垣委員，中山委員，伊奈委員，大日方委員，岩崎委員，大里委員，笹倉委員，上野オブザーバー，渡部オブザーバー，稲垣オブザーバー，伊藤幹事

欠席者：石井委員，兒島委員，薦田委員，小嶋委員，西田委員，外狩委員，岸田オブザーバー大和オブザーバー

1. 委員会審議事項

1) 委員会委員の交代について

【委員の変更】損保ジャパン 唐澤委員（他部署に異動のため）

→損保ジャパン 兒島剛士（こじまごうし）委員

2) 前回議事録の確認（伊藤幹事） 資料 14-2

- ・ 議事録案にて了承された

3) 地盤工学会誌の講座執筆について

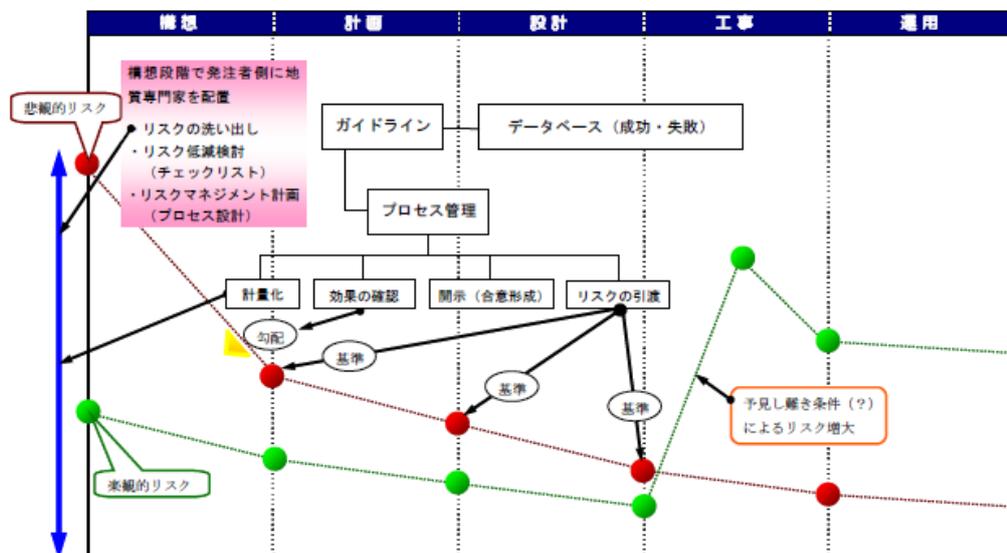
- ・ 各章の進捗状況について担当執筆者から説明があり，下記のようなコメントがあった

タイトル	執筆担当	資 料 No
1 はじめに	日下部	
2 リスクとリスクマネジメント	大日方・正垣	14-3-1 ～3
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合宿では ISO 31000 の話をしたが，その後 2010 年 9 月に JIS Q 31000 が公表されたので，JIS にあわせて修正した。 ・ JIS 自体がビジネスを基本としているので，それを地盤に関係したものに修正する予定 ・ 表-2.1 を新たに追加した。 ・ 討議メモについては，2 章で全てカバーする ・ 「地盤リスク」の用語の定義が章によって異なっているので，それを本章か 1 章で定義する ・ 図 2.1，表 2.2 については，講座全体の流れとして出てくるのは早い気がする 		
3 自然災害・法令・社会情勢等の動向と地盤リスク	正垣・西田・大里・笹倉・中山・上野・外狩	14-4-1 ～2

- ・口絵写真-1~2 を更に追加した
- ・水俣病発生確認と
- ・法律が出てきた災害を法律の専門家に確認した方が良い
- ・文章は変わっていない。題名は変えた。
- ・法律の略称について確認した方が良い
- ・各支部に情報提供をお願いしたが、該当するものは無い。

4 地盤リスク対応の現状と地盤工学の役割	中山・笹倉・正垣・大里・西田	14-5-1 ~2
----------------------	----------------	--------------

- ・前回と 4.2 と 4.3 の順番を入れ替えた
- ・4.3 は地質リスク学会事例研究以外に事例を追加した
- ・災害と設計上の地盤リスクが混在しているので、読者は混乱するのでは？
- ・タイトルについても再考したほうが良い
- ・表-4.1 はオリジナル
- ・調査の前の「計画」についてどのように含めるか？
- ・常時と非常時のリスクの重みが違ってくる
- ・計画段階で地質屋・地盤屋がタッチできれば・・・ということを入れられるか？
- ・全地連の地質リスクの代表的な図が合致するのではないかと？ ←2 章に入れても良いのかもしれない。



5 契約と地盤リスク	岩崎・大日方・岸田・渡部	14-6-1 ~3
------------	--------------	--------------

- ・GBR を色々なところで説明をしているので、その反応を見て記載をしていく
- ・基本的には、前回と変わっていない

6 保険と地盤リスク	日下部・伊奈・(蔵田・唐澤) 大和	14-7-1 ~2
------------	----------------------	--------------

- ・住宅の瑕疵担保については重要なので大和さんをお願いをする
- ・東京都下水道局から情報提供の依頼状を出したので、使用可能である

7 法と地盤リスク	大久保・薦田・伊藤・小嶋・ 稲垣・伊奈・石井	14-8-1 ～6
-----------	---------------------------	--------------

- ・ 7.2 は薦田先生からの指摘を踏まえ修正した
- ・ 7.3 (薦田先生担当) 法制度を分類・類型化した
- ・ 7.4 平成年間だけを抽出・データベース化した。全 93 件
- ・ 7.4 まだデータベース化作業は完全には終わっていないため、詳細な分析が出来ていないのが現状。
- ・ 地盤工学会の会員に分かりやすいように法律用語を優しくするか、注釈を入れるかを検討する。
- ・ 7.4 のタイトルは“傾向”程度になるのではないか？
- ・ 7.3 の 4 つの類型化は、薦田先生オリジナル
- ・ 薦田先生の表を 1 枚忘れたので、以下に添付

立法の契機	立法の推移
	1950 建築基準法(中規模の地震対応)
1957 集中豪雨による地すべり災害	1958 地すべり等防止法
1961 集中豪雨で宅地造成地の崖崩れ災害	1961 宅地造成等規制法
乱開発・スプロール化	1968 都市計画法(開発許可制)
1967 集中豪雨で自然斜面の崖崩れ災害	1969 急傾斜地法
ゴルフ場開発などで森林の乱開発	1969 森林法改正(林地開発許可制)
海浜等の埋立による環境破壊	1969 公有水面埋立法の改正(環境保全・災害防止条項)
1968 イタイイタイ病の原因をカドミウムであると厚生省認め、カドミウム米をめぐる社会不安	1970 農用地土壌汚染法
1978 宮城県沖地震	1981 建築基準法改正(最大規模の地震対応)・新耐震設計法施行
1975年の六価クロム汚染、97年の東芝工場地下水汚染、98年のUSJ土壌汚染	2002 土壌汚染対策法
2004年の新潟県中越地震、2005年の福岡県西方沖地震では造成宅地に地盤災害	2006 宅地造成等規制法・都市計画法の改正(造成宅地の規制強化)
2005 構造計算書偽装問題の発覚	2006 建築基準法改正(構造計算適合性判定制度の導入等)
同上	2007 住宅瑕疵担保履行法

- ・ (薦田先生の表) 制定年がおかしい法律がある→制定年と改正年が必要か？

8 おわりに	日下部	
--------	-----	--

平成 22 年 11 月 24 日
公益社団法人地盤工学会 関東支部

あと 1 回、2 月末くらいまでに完成させて、会誌部のほうへ投げる。

14-3-2 の「地盤リスク」と「地盤リスクマネジメント」の定義について・・・

地盤リスク	: 国民の安全・安心に資する社会資本整備に対する地盤に関連する不確かさの影響
地盤リスクマネジメント	: 社会資本整備マネジメントのうち地盤に関連する不確かさに伴う影響を指揮統制する活動

4) 委員会の次年度以降の予定について

- ・ 現状（今後の予定）
 - ・ 講座掲載（平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月）
 - ・ 科研費（平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月）← 報告書作成が必要
 - ・ 書籍の出版
 - ・ シンポジウム（来年 9 月に地質リスク学会と共催で予定している）
- ・ 方向性
 - ・ 今の体制で、広報・普及活動委員会として 1 年程度は存続する方向（最大 2 年間程度）
 - ・ 講座などで新しい展開が見えれば、新しい研究委員会の立ち上げも考えられる。

5) 次回委員会の予定（第 15 回目以降の日程）

第 15 回 1 月 11 日 14 : 00～ 17 : 00

第 16 回 月 日 : ~ :

2. 配布資料

議事次第

資料14-1. 議事次第

資料14-2. 前回議事録（案）

資料14-3. 2 リスク学とリスクマネジメント 関係資料

資料14-4. 3 自然災害・法令・社会情勢等の動向と地盤リスク 関係資料

資料14-5. 4 地盤リスク対応の現状と地盤工学の役割 関係資料

資料14-6. 5 契約と地盤リスク 関係資料

資料14-7. 6 保険と地盤リスク 関係資料

資料14-8. 7 法と地盤リスク 関係資料

資料14-9. 委員会名簿

以上